

南海トラフ地震臨時情報から考える ～東京都で必要なBCPの取組とは～

2024年8月中旬に宮崎県日向灘で最大震度6弱の地震が発生し、気象庁から初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。巨大地震の発生可能性が意識されるとともに、改めて大規模災害に対する事前準備とBCP策定に対する関心が高まっています。本セミナーでは、南海トラフ地震臨時情報から読み解く大規模地震の脅威と必要な対策、有事においても従業員が適切に行動できる実効性の高いBCPの策定とBCMの構築に至るまで、今、企業に必要なとされるBCPの取組について解説いたします。

主な 内容

1. 南海トラフ地震臨時情報から考える～首都直下型地震の脅威と必要な対策～
2. 多様化する東京都が直面する災害の脅威
3. BCPと防災の違い
4. 今、必要とされるBCPの取組とは
5. 文書で終わらない！従業員が動けるBCP構築の取組

令和6年

12月11日(水)

15:00～16:20

- ・定員：100名(先着順・要事前申込)
- ・対象：都内に主たる事業所がある中小企業の方
- ・受講料：無料
- ・開催形式：Web(Zoomを予定)

※ 視聴方法等は、お申込み後、別途ご案内いたします。

講師

ニュートン・コンサルティング株式会社
チーフコンサルタント

梅林 澄人 氏

経歴

新卒にて全国紙新聞社に入社。記者として地方の自然災害や企業不祥事の現場を取材した経験を持つ。ニュートン・コンサルティング入社後、前職での取材経験を活かし、製造業や小売業を中心に、BCPの策定・評価・訓練等を支援。記者時代と変わらずに、現場第一で、多様な視点を持ち、お客様の役に立つご支援を心掛けている。

支援実績：製造業、小売業、大手商社、サービス業、他 多数
執筆実績：小冊子「新任BCP担当者がやるべき3つの仕事～危機時の対応から逆算し、平時の準備を考える～」、自社メディア記事「TNFD」等
サービス開発：危機管理広報訓練サービス

【ご留意事項】

- ・お申込みやご視聴にあたりPCやタブレットなどの端末、インターネット環境、メールアドレスが必要です。
※視聴に伴う通信料は受講者負担となります。
- ・タブレットやスマートフォンで参加される場合、Zoomアプリの事前ダウンロードが必要です。
- ・接続不良に伴うサポートは実施しておりません。事前に接続の確認をお願い致します。

お申込はこちら→<https://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/2412/0006.html>